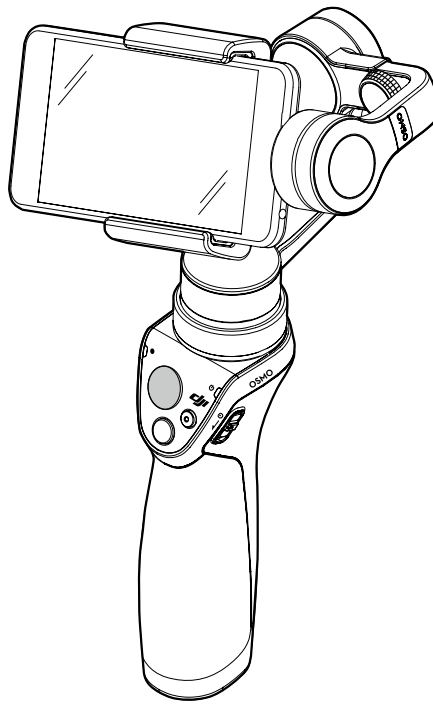
OSMO MOBILE

ユーザーマニュアル

V1.2 2017 .04



キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードで検索してトピックを検索します。Adobe Acrobat Reader を使用して本書を読んでいる場合、Windows であれば Ctrl+F を押し、Mac の場合は Command+F を押して検索を開始します。

任意のトピックへの移動

目次にトピックの全リストが表示されます。トピックをクリックしてそのセクションに進みます。

本書を印刷する

本書は高解像度印刷に対応しています。

このマニュアルの使用方法

凡例

⚠ 重要　　ヒント

DJI GO アプリのインストール

App Store または Google Play で「DJI GO」を検索して、お手持ちのモバイルデバイスにアプリをインストールします。

⚠ DJI GO は iOS 8.0 以降と Android 4.4 以降に対応しています。

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

目次

このマニュアルの使用方法 2

凡例 2

DJI GO アプリのインストール 2

はじめに 4

インスト 5

インテリジェントバッテリー 5

スマートフォンの取り付けとバランス調整 7

別売品 8

Osmo Mobile の使用 9

コントロールと操作 9

操作モード 12

DJI GO アプリ 14

ダウンロード 14

DJI GO アプリへの接続 14

主なページ 15

ファームウェアの更新 18

アップグレードの方法 18

Osmo ハンドル付き Zenmuse M1 ジンバルの使用 18

Zenmuse M1 の取り付け 18

注 19

仕様 20

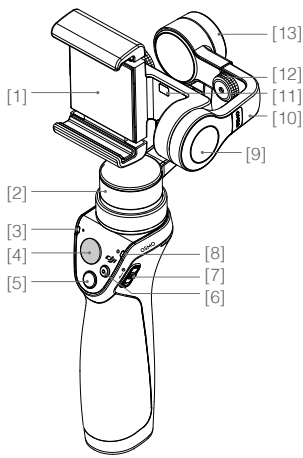
© 2017 DJI All Rights Reserved.

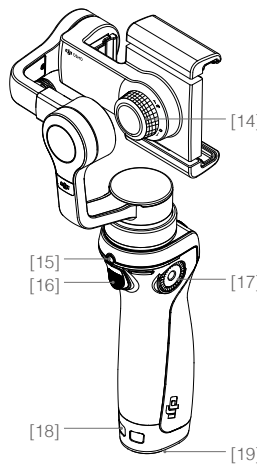
はじめに

OSMO™ Mobile を使うと、お使いのスマートフォンをスマートモーションカメラとしてご利用いただけます。本製品には 3 軸ジンバルが採用されており、手ぶれを防ぎながらスマートフォンを操作できます。人間工学に基づいた設計により、ボタンは指先で簡単に操作できるように配置されています。また、軽量でどこへでも持ち運べて、スマートフォンでの撮影をしっかりサポートします。DJI GO アプリを使うと、ActiveTrack（アクティブトラック） やモーション・タイムラプスをご利用いただけます。

3 軸ジンバルとスムーズトラック技術により、撮影時の手ぶれを防ぐことができ、滑らかな動画撮影を実現します。ジョイスティックを使うと、スマートフォンの向きを細かく操作できます。また素早く向きを変えたいときは、手を使ってスマートフォンの向きを変えることも可能です。ハンドルの側面にある DJI ロゼットマウントには、延長ロッド、三脚、および特殊な撮影用にさまざまなアクセサリーを取り付けることができます。

外観：





[1] モバイルデバイス・ホルダー
[2] パン軸モーター
[3] カメラステータス LED
[4] ジョイスティック
[5] シャッターボタン
[6] 録画ボタン
[7] 電源スイッチ
[8] システムステータス LED
[9] チルト軸モーター
[10] アジャスタブルアーム
[11] モバイルデバイス・センサー
[12] バランス調整ノブ
[13] ロール軸モーター
[14] ホルダーロックノブ
[15] 充電／アップグレードポート
[16] トリガー
[17] DJI ロゼットマウント
[18] ストラップ取付口
[19] バッテリーカバー

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

インスト

インテリジェントバッテリー

980mAh インテリジェントバッテリーは、フル充電すると、約 4.5 時間電源を供給できます。

インテリジェントバッテリーの機能	
バッテリーの平衡化	充電時は、各バッテリーセルの電圧が平衡化されます。
過電流保護	充電電流が大きすぎる場合は、充電を中止します。
過充電保護	充電電圧が高すぎる場合は、充電を中止します。
過放電保護	充電電圧が低すぎる場合は、放電を中止します。
短絡保護	短絡が検知された場合は、電源供給を中止します。
温度制御	バッテリー内部の温度が 5℃未満になったり、40℃ を超えたりした場合は、充電を中止します。
バッテリーレベル表示	バッテリーレベルは DJI GO アプリに表示されます。

バッテリー仕様

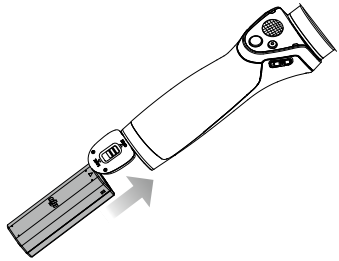
モデル	HB01-522365
種類	LiPo
容量	980mAh
電力量	10.8Wh
電圧	11.1V
充電温度	5 ～ 40℃
動作環境温度	0 ～ 40℃

⚠
- インテリジェントバッテリーを初めて使用するときは完全に充電してください。
- ご使用前に、ユーザーマニュアル、インテリジェントバッテリー安全ガイドラインをお読みください。ユーザーにはすべての操作と使用に対する全責任があります。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

バッテリーの挿入

Osmo Mobile の底部にあるバッテリーカバーのロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開きます。バッテリーを挿入し、バッテリーカバーをロックします。



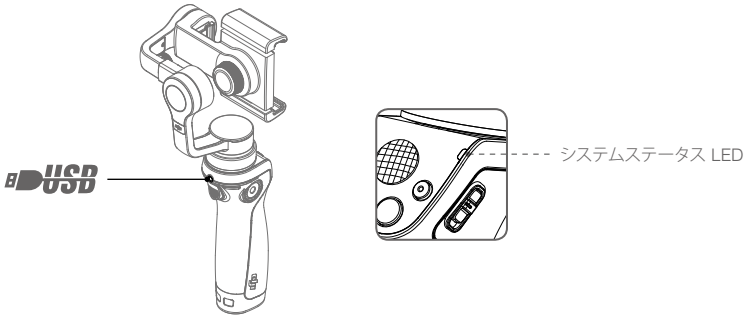
充電中

Osmo Mobile を充電する場合は、付属の電源ケーブルを使って、充電ポートと USB アダプター（別売）を接続します。

バッテリーが完全に充電されると、システムステータス LED が緑色に点灯します。

USB アダプター充電時間：3時間（1 A で充電した場合）

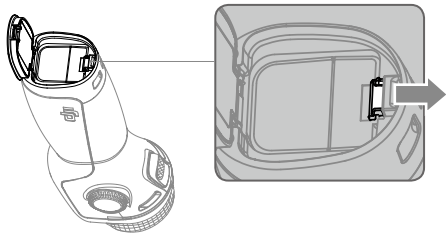
サポートされる USB 充電最大電流：2.1 A



⚠ 電源ケーブルは、付属のものを使用してください。電源ケーブルを他のデバイスの 3.5mm ポートに取り付けないでください。損傷する恐れがあります。

バッテリーの取り外し

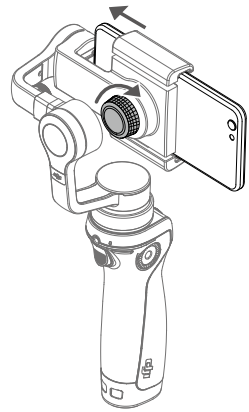
Osmo Mobile の底部にあるバッテリーカバーのロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開いてください。赤色の安全フックをバッテリーと反対方向に押してロックを解除してから、バッテリーを外します。



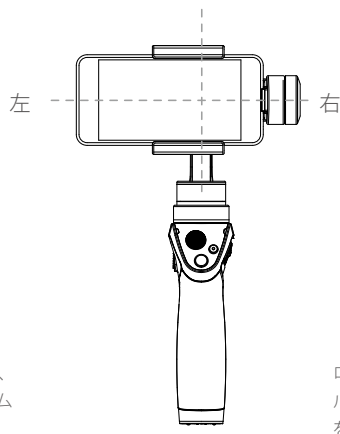
 © 2017 DJI All Rights Reserved.

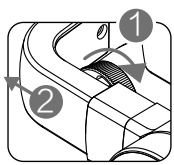
スマートフォンの取り付けとバランス調整

1. Osmo Mobile の電源がオフになっている状態で、ホルダーロックノブを緩め、モバイルデバイス・ホルダーにスマートフォンを挿入し、ノブを締め付けて固定します。

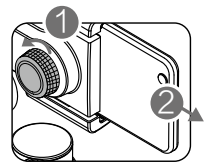


2. 電源を入れない状態で、手を放してもスマートフォンが水平を保つようにバランスを調整してください。





ロール軸が左に傾いている場合、ロール軸が水平になるまでアームを引き出します。



ロール軸が右に傾いている場合、ロール軸が水平になるまでスマートフォンを左に動かします。

⚠
- スマートフォンを取り付けていない状態では、電源をオンにしないでください。モバイルデバイス検出センサーによってスマートフォンが検出されない場合は、Osmo Mobile は動作しません。
- 性能を十分に発揮させるには、スマートフォンのバランスを取ることが重要です。Osmo Mobile のバランス調整は、必ず電源オフの状態で行ってください。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

別売品

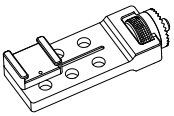
DJI では、Osmo Mobile 用のさまざまな別売アクセサリーを用意しています。

Osmo ベース

Osmo を垂直に立てておくことができる台です。

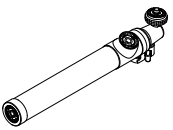
ユニバーサルマウント

フラッシュなどのアクセサリーを取り付けるときに使用します。



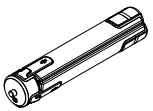
延長ロッド

グループでのセルフィーや頭上からの撮影、または狭い空間にスマートフォンを入れて撮影するときに役立ちます。



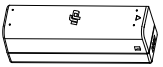
三脚

スマートフォンを固定して撮影します。安定した映像が必要なときに便利です。三脚は延長ロッドと組み合わせて使います。



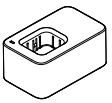
大容量インテリジェントバッテリー

バッテリー容量は 1225 mAh です。



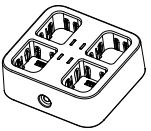
Osmo 充電器

この充電器は、Osmo シリーズのインテリジェントバッテリーを用の充電器です。



Osmo クアッド充電システム

専用電源アダプターと一緒に使用します。最大 4 個の Osmo インテリジェントバッテリーを充電できます。

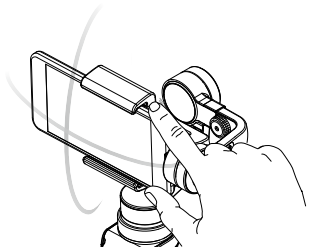


 © 2017 DJI All Rights Reserved.

Osmo Mobile の使用

コントロールと操作

ジンバルは、ハンドルの動きを予測してパンやチルトの移動を滑らかにし、スムーズトラック技術を使用して手ぶれにより生じるスマートフォンの揺れを抑えます。
スマートフォンの向きを手で調節することもできます。

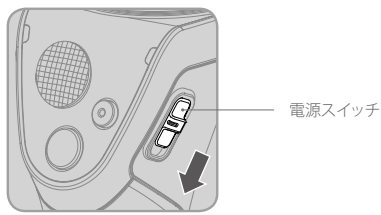


また、ハンドルの手前にあるジョイスティックでスマートフォンの向きを微調整できます。すべてのボタンと操作方法は、次のとおりです。

[1] 電源スイッチ

電源スイッチを 1.5 秒間押し下げたままにすると、Osmo Mobile の電源がオンまたはオフになります。

Osmo Mobile の電源がオンの状態で電源スイッチを引いてすぐに離すと、スリープモードに移行するか、スリープモードが解除されます。



⚠ Osmo Mobile の起動中は、直立させた状態にして、動かさないでください。

[2] ジョイスティック

垂直方向に動かすことで、スマートフォンの向きを上下に振ります。水平方向に動かすことで、スマートフォンの向きを左右に振ります。ジョイスティックの制御方向は DJI GO アプリで変更できます。

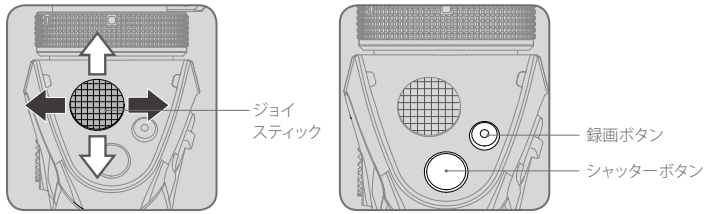
[3] シャッターボタン

シャッターボタンを押すと、写真を撮影できます。シャッターボタンを長押しすると、写真を連続で撮影できます。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

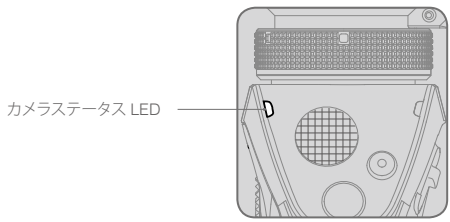
[4] 録画ボタン

録画ボタンを 1 回押すと録画が開始され、もう 1 回押すと録画が停止されます。



[5] カメラステータス LED

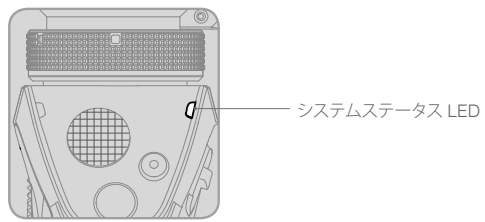
カメラのシステムステータスを示します。詳細については、下記の表を参照してください。



点滅パターン		解説
○	LED が消灯	デバイスが接続されていません。
Ⓑ ——	青色点灯	カメラは正常に機能しています。
Ⓖ ……	緑色点滅	写真を撮影しています。
Ⓖ ……	ゆっくりと緑色で点滅	セルフタイマー
Ⓖ … … …	撮影ごとに緑色で点滅	連続撮影
Ⓡ ……	ゆっくりと赤色で点滅	ビデオを録画しています

[6] システムステータス LED

Osmo Mobile のステータスを示します。詳細は下記表を参照してください。



 © 2017 DJI All Rights Reserved.

点滅パターン		解説
Ⓖ ——	緑色点灯	Osmo Mobile が正常に機能していること、またはファームウェアのアップデートが成功したことを示します。
Ⓖ ·····	緑色点滅	Osmo Mobile が初期化中であること、またはスリープモードを終了していることを示します。
Ⓖ ▬	緑色でゆっくりと点滅	スタンバイ中であることを示します。
Ⓨ ——	黄色点灯	トリガーが引かれていて、ロックモードが有効になり、スマートフォンの位置を保持する状態になっていることを示します。
Ⓨ ·····	黄色点滅	ジンバルが正常に機能していないことを示します。
▬	緑色／黄色／赤色でゆっくりと点滅	充電中であることを示します。
Ⓡ ·····	ゆっくりと赤色で点滅	バッテリ残量が少ないことを示します。
Ⓡ ·····	赤色で素早く点滅	バッテリ残量が非常に少ないことを示します。
Ⓡ ——	赤色点灯	DJI 以外のバッテリーが検出されたか、ファームウェアのアップデートが失敗したことを示します。

トリガーを 2 回タップすると、スマートフォンがデフォルトの位置に戻ります。システムステータス LED が黄色で点滅している場合は、ジンバルにエラーが発生していることを示しています。

[7] トリガー

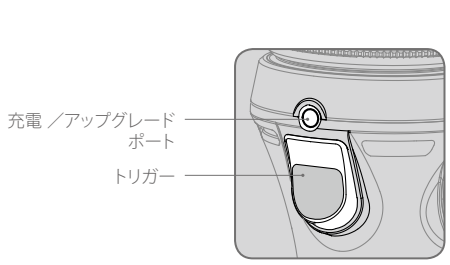
トリガーを引くとと、ロックモードが有効になります。ジンバルは、ハンドルの動きに関係なく現在の位置を保持します。トリガーを放すと、Osmo Mobile は スムーズトラック モードに戻ります。トリガーを 2 回素早くタップすると、スマートフォンはデフォルトの位置に戻ります。

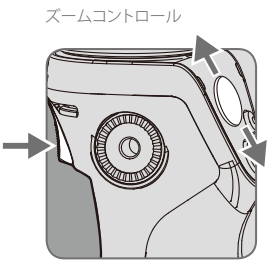
トリガーを 3 回タップすると、スマートフォンの前面カメラと背面カメラが切り替わります。ビデオ録画中にカメラを切り替えると、録画は停止されます。

トリガーを引きながらジョイスティックを上下に押すとズームします。この機能は、DJI GO アプリの測光モードのとき、およびスマートフォンの背面カメラを使用しているときにのみ使用できます。

[8] 充電／アップグレードポート

Osmo Mobile を充電するには、このポートに接続します。



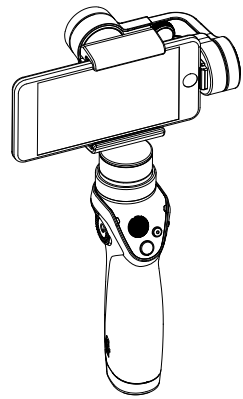


© 2017 DJI All Rights Reserved.

操作モード

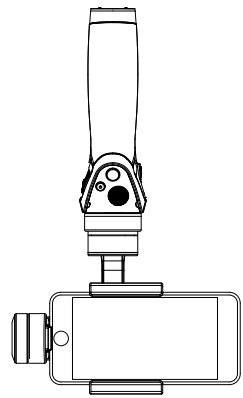
標準モード

標準モードはデフォルトのモードです。標準モードを使用しているときに、トリガーを 2 回素早くタップすると、スマートフォンが中央の位置に戻ります。



吊り下げモード

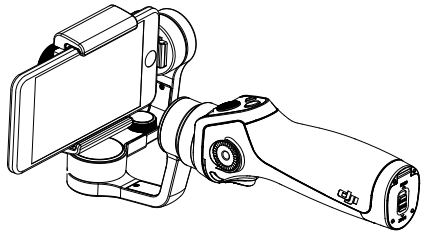
Osmo Mobile を逆さにしてトリガーを 2 回押すと、吊り下げモードに切り替わります。低い位置から撮影するときに便利なモードです。



 © 2017 DJI All Rights Reserved.

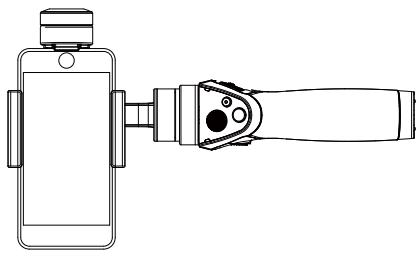
ペンライトモード

Osmo Mobile を前方に 90 度回転してトリガーを 2 回押すと、標準モードからペンライトモードに切り替わります。ペンライトモードでは、ジョイスティックを上下に押すと、ジンバルは上下に首を振ります。ジョイスティックを左右に押しても何も動きません。



ポートレートモード

Osmo Mobile を左右に 90 度回転させてトリガーを 2 回押すと、標準モードからポートレートモードに切り替わります。ポートレートモードを使用しているときは、ActiveTrack （アクティブトラック) を使えません。



© 2017 DJI All Rights Reserved.

DJI GO アプリ

DJI GO アプリを使用すると、スマートフォンのカメラが捉える映像を HD 画質で確認できます。このアプリを使用すると、簡単なタップ操作でカメラやジンバルの設定を変更できます。

ダウンロード

App Store または Google Play で「DJI GO」を検索して、お手持ちのスマートフォンにアプリをダウンロードします。

DJI GO アプリへの接続

1. Bluetooth を有効にし、スマートフォンの画面回転ロックをオフにして、横画面表示できるようにしてください。
2. Osmo Mobile の電源をオンにします。Osmo Mobile の起動中は、直立させたままにして、ジンバルに触れないようにしてください。

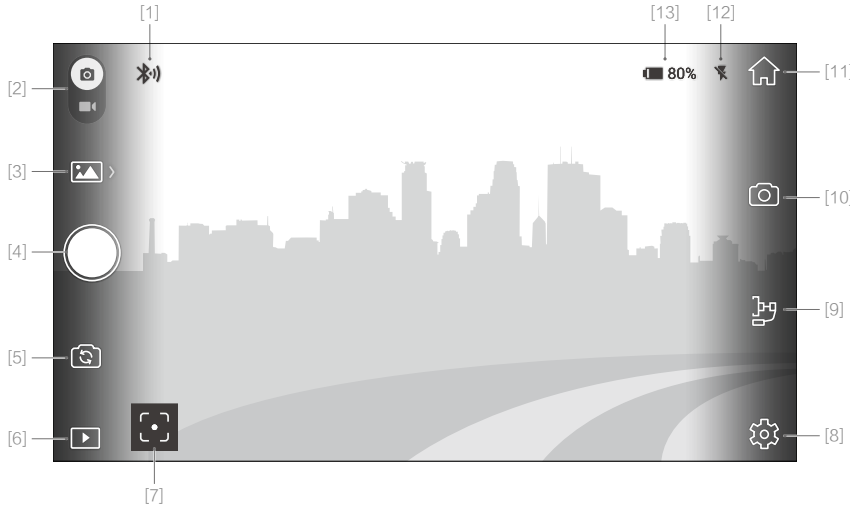
3. DJI GO アプリを起動します。Osmo Mobile を初めて使用する場合は、画面の指示に従って Osmo Mobile をアクティベートします。アクティベートするときは、インターネットに接続できる環境で DJI アカウントにログインする必要があります。
4. カメラビューにします。スマートフォンが正常に接続されている場合、スマートフォンが捉えている映像がリアルタイムで表示されます。

☼	カメラビューにした後の Osmo Mobile の使用方法に関するチュートリアルがあります。
⚠	電話をかけたり電話に出たりすると、録画は停止します。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

主なページ

1.［機器］>［カメラ］



[1] 接続ステータス
DJI GO アプリと Osmo Mobile の間の接続ステータスを示します。

[2] 写真／ビデオの切り替え
スライドして写真モードとビデオモードを切り替えます。

[3] 写真／ビデオの設定
写真のモード
シングルショット、インターバル撮影（2 秒、5 秒、10 秒）、HDR

ビデオモード
- 通常：カメラの設定に基づいた通常のビデオです。
- スローモーション：タップすると、スローモーションビデオの録画が開始または停止されます。
- タイムラプスの設定：写真の撮影間隔と撮影時間を選択して、タイムラプスの録画を開始します。三脚モードでは、より安定させるためにジンバルのモーターがロックされます。Osmo Mobile を安定した場所に設置してタイムラプスを撮影する場合は、三脚モードを選択してください。Osmo Mobile を手に持って撮影する場合は、三脚モードを選択しないでください。
- モーション・タイムラプス：最大 5 つのアングルを設定でき、モーション・タイムラプスを作成できます。

[4] ：シャッター／録画ボタン
写真モードでは写真を撮影し、ビデオモードではビデオを録画します。

[5] ：前面／背面カメラスイッチ
タップすると、スマートフォンの前面カメラと背面カメラが切り替わります。

[6] ：再生
タップすると、写真や動画が表示されます。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

[7] ⊙:測光モード／⁘: ActiveTrack（アクティブトラック）
タップすると、測光モードと ActiveTrack（アクティブトラック）が切り替わります。
測光モード: 画面をタップして、オートフォーカスと手動露光の調整を行います。
ActiveTrack: 画面上で対象物をマークすると、ジンバルが対象物に向きを合わせ続けます。録画ボタンをタップすると、録画が開始されます。追尾する被写体の構図を調整する場合は、ジョイスティックを使用してください。

⚠ 電話をかけたり電話に出たりすると、録画が停止します。

[8] ⚙:設定
カメラ
ここで、ビデオの解像度（お使いのスマートフォンに依存します）を設定、またはメラ設定をリセットします。

ジンバル
- 水平キャリブレーション
  水平線が傾いた場合に水平線を水平に戻すための正の値と負の値を調整します。
- 自動キャリブレーション
  周囲からの磁気干渉や人的エラーによるドリフトを低減させます。キャリブレーション中はジンバルに触れず、Osmo Mobile を直立させたままにしてください。
- スティック操作方向
  ジョイスティックの制御方向を［フリー］に設定すると、チルトの軸とパンの軸を同時に制御できます。
- パンスティックを逆にする
  ジョイスティックの左右方向を反転させます。右に押すとスマートフォンが左に回転し、左に押すと右に回転します。
- チルトスティックを逆にする
  ジョイスティックの上下方向を反転させます。ジョイスティックを上に押すと、スマートフォンは下にチルトします。

一般設定
ファームウェアのバージョン、インテリジェントバッテリーの情報、およびデバイス名を表示します。

ライブ
YouTube ライブにライブストリーミングします。

[9] :ジンバル
シーンモード
スムーズトラック の速度はシーンモードに応じて変更されます。スポーツモードでは速く動き、ウォークモードではゆっくりと動きます。

ピッチロック
有効にすると、現在の角度でチルト軸をロックします。

 © 2017 DJI All Rights Reserved.

[10] :カメラの環境設定
ビデオ解像度、フラッシュステータスを選択し、画面上の構図グリッドを有効にします。ISO、シャッタースピード、およびホワイトバランス制御の手動調整を有効にします。現在、iOS のみで使用できます。

[11] :ホーム
タップすると、ホーム画面に移動します。

[12] フラッシュステータス
フラッシュの現在のステータスを表示します。

[13] バッテリーレベル
現在のバッテリーレベルを表示。

ズーム
画面に置いた 2 本の指を開くとズームインし、閉じるとズームアウトします。この機能は、DJI GO アプリの測光モードのとき、およびスマートフォンの背面カメラを使用しているときにのみ使用できます。

2. Editor

作品を プレビュー、編集、共有できます。Editor には、シンプルながら強力なツールが多数用意されています。ビデオや写真を撮影した直後に編集してンラインで共有できます。

ログインするか DJI アカウントに登録すれば、作品を簡単にアップロードして共有できるようになります。保存した写真とビデオを Skypixel（www.skypixel.com）にアップロードし、Facebook、Twitter、WeChat、Moments、Sina Weibo などのソーシャルネットワーク上で共有できます。

ビデオ

録画したすべてのビデオ映像は、[オリジナルビデオ] に表示されます。映像をトリミングし、[動画を作成します] に保存できます。次に、複数のクリップを選択して、編集ツールやテンプレートを使ってムービーをすぐに作成できます。

写真

パラメータの調整、写真サイズの編集、透かしの追加、およびフィルタの適用など、写真を編集します。

3. Skypixel

ここで、写真やビデオを表示および共有します。

4. Me

DJI アカウントをすでにお持ちの場合は、ここからフォーラムのディスカッションに参加したり、DJI オンラインストアにアクセスしたりできます。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

ファームウェアの更新

バッテリーに 50 % 以上の残量があることを確認してください。アップグレードには、およそ 10 分かかります。ファームウェアのアップグレードが成功すると、カメラステータス LED が緑色に点灯します。

アップグレードの方法

Osmo Mobile をお手持ちのスマートフォンに接続し、DJI GO アプリを起動します。新しいファームウェアのアップグレードが利用できる場合、通知されます。アップグレードを開始するには、スマートフォンをインターネットに接続し、画面の指示に従います。

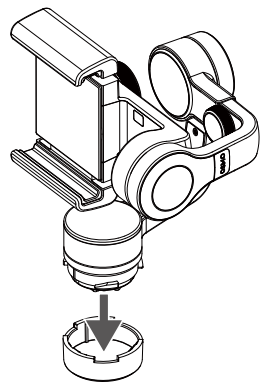
アップグレードプロセス中に DJI GO アプリを終了しないでください。画面に表示されるメッセージに注意してください。アップグレードに失敗した場合は、アップグレードを再試行する必要があります。

Osmo ハンドル付き Zenmuse M1 ジンバルの使用

Zenmuse M1 ジンバルは Osmo ハンドルに対応しています。Osmo モバイルのファームウェアバージョン 1.4.0.60 が必要です。ファームウェアの更新は、Zenmuse M1 を Osmo ハンドルに取り付けて実行する必要があります。

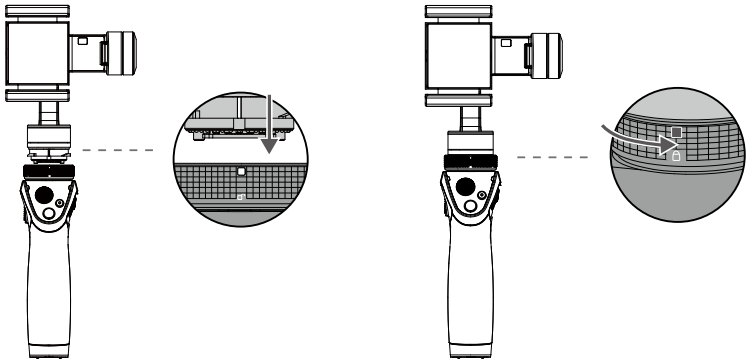
Zenmuse M1 の取り付け

1. ジンバルキャップを外します。



2. 白いマークを合わせます。
3. ジンバルを Osmo ハンドルに取り付け、ジンバル固定リングをロック位置まで回転させます。

 © 2017 DJI All Rights Reserved.



注

Zenmuse M1 の操作と機能は、Osmo モバイルと同じです。Osmo Pro ／ RAW Z-Axis やジンバル延長器などの他の Osmo アクセサリー以外は、Osmo ハンドルで使用できます。

Zenmuse M1 を Osmo ハンドルに取り付けて使用する場合は、次のことに注意してください。

⚠
- 外部マイク入力は、Osmo ハンドルの充電ポートとして使用できません。バッテリーは必ず付属の充電器を使用して充電してください。
- 内蔵マイクと外部マイク入力は使用できません。音声はスマートフォンで録音されます。
- 電源を入れるには、Osmo ハンドルの電源スイッチを押します。電源を切るには、電源スイッチを 1.5 秒間押します。
- Bluetooth が切断されると、接続していたカメラのステータス LED が黄色で点灯します。Osmo モバイルとは異なり、Bluetooth 接続時はオフになります（Osmo モバイルのカメラのステータス LED は、Bluetooth 切断時はオフになり、Bluetooth 接続時は青色で点灯します）。
- Zenmuse M1 ジンバルと Osmo ハンドルを使用するには、有効にする必要があります。DJI GO アプリの指示に従って、ジンバルとハンドルを有効にします。有効化するにはインターネット接続が必要です。

© 2017 DJI All Rights Reserved.

仕様

ハンドル	
寸法	61.8 × 48.2 × 161.5 mm（2.4 × 1.9 × 6.4 インチ）
重量（バッテリーを含む）	201 g
ジンバル	
名称	Zenmuse M1
モデル	ZM01
寸法	125.06 × 109.15 × 90.98 mm（折りたたんだ状態）
重量	300 g
消費電力	2.5 W
角度ぶれ範囲	± 0.03°
操作可能範囲	パン：± 150°、ロール：± 25°、チルト：-125 ～ +35°
機械的な可動範囲	パン：± 165°、ロール：-50 ～ +90°、チルト：-140 ～ +50°
最大動作速度	120° / 秒
対応スマートフォンの幅	58.6 ～ 84.8mm
ワイヤレス	
モデル	Bluetooth Low Energy 4.0
インテリジェントバッテリー	
モデル	HB01-522365
タイプ	LiPo
容量	980mAh
電力量	10.8Wh
電圧	11.1V
充電温度	5 ～ 40℃
動作環境温度	0 ～ 40℃

© 2017 DJI All Rights Reserved.

本内容は予告なく変更される場合があります。

最新版は下記よりダウンロードしてください。
www.dji.com/product/osmo-mobile

If you have any questions about this document, please contact DJI by sending a message to **DocSupport@dji.com**.

OSMO は DJI の商標です。
Copyright © 2017 DJI All Rights Reserved.